

【別紙 1】大阪市バックオフィス DX における人事給与関連事務システムに係る要件

1 個別分野における要件等

各分野における、課題・背景や対応の方向性、求める機能要件・情報提供内容について記載します。

(1) 年末調整

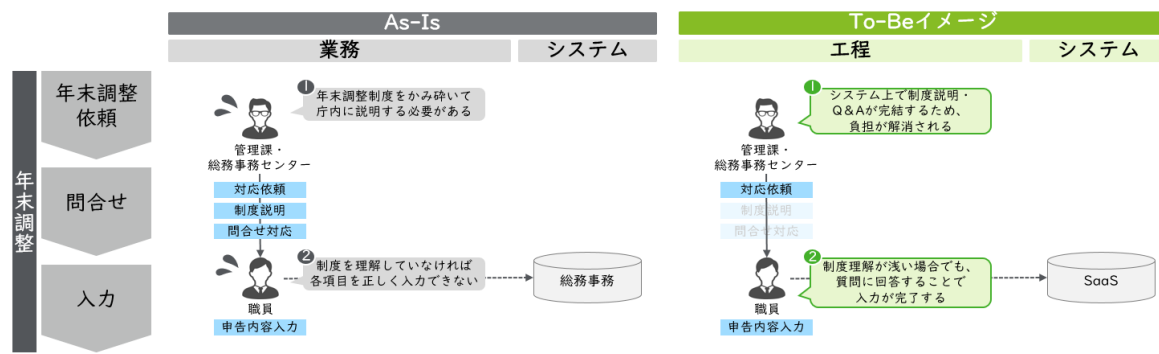
(ア) 課題・背景

現行の総務事務システムでの年末調整では、操作性（制度説明・確認含む）が高いとは言えず、問い合わせ対応やサポートにかかる負荷が高い状況です。

※詳細は【別紙 2】P.30～31を参照

(イ) 対応の方向性

年末調整機能を SaaS 化し、職員の利便性向上と問い合わせやサポートにかかる負荷の軽減を目指します。



(ウ) 求める機能要件・情報提供内容

- ・ 様式 2 の「年末調整(機能要件)」 「年末調整（将来的に実装を希望する要件）」シートを参照の上、回答ください。

(2) 勤怠管理

(ア) 課題・背景

現在、アナログな対応が求められる状況となっており、多様な働き方への対応や労務管理・超勤管理のために勤務状況の可視化が必要です。具体的な課題は以下の通りです。

- ・ IC カード（職員証）読取機（イントラ NW）の交換を見据えた打刻管理の仕様検討が必要
 - ・ フレックスタイム制度等への対応のための Excel 等での手作業を無くしシステム化したい
 - ・ 複雑な勤務形態や休暇制度、多様な働き方にシステム・ルールが対応していない
 - ・ 現行システムでは、ダッシュボードのような機能がなく、自身の勤怠状況を職員が容易に確認できず不便
 - ・ 勤務時間、休暇取得状況、労務管理等の状況が可視化され、職員個人・上長が簡単に把握できる状態にしたい
 - ・ 職員の働く時間と仕事量のバランスの良否を随時検討できる状態になっていない
 - ・ 有給消化状況が可視化できない。職員区分により取り扱いが異なり、問い合わせが多い
- ※詳細は【別紙 2】P.17～19 を参照

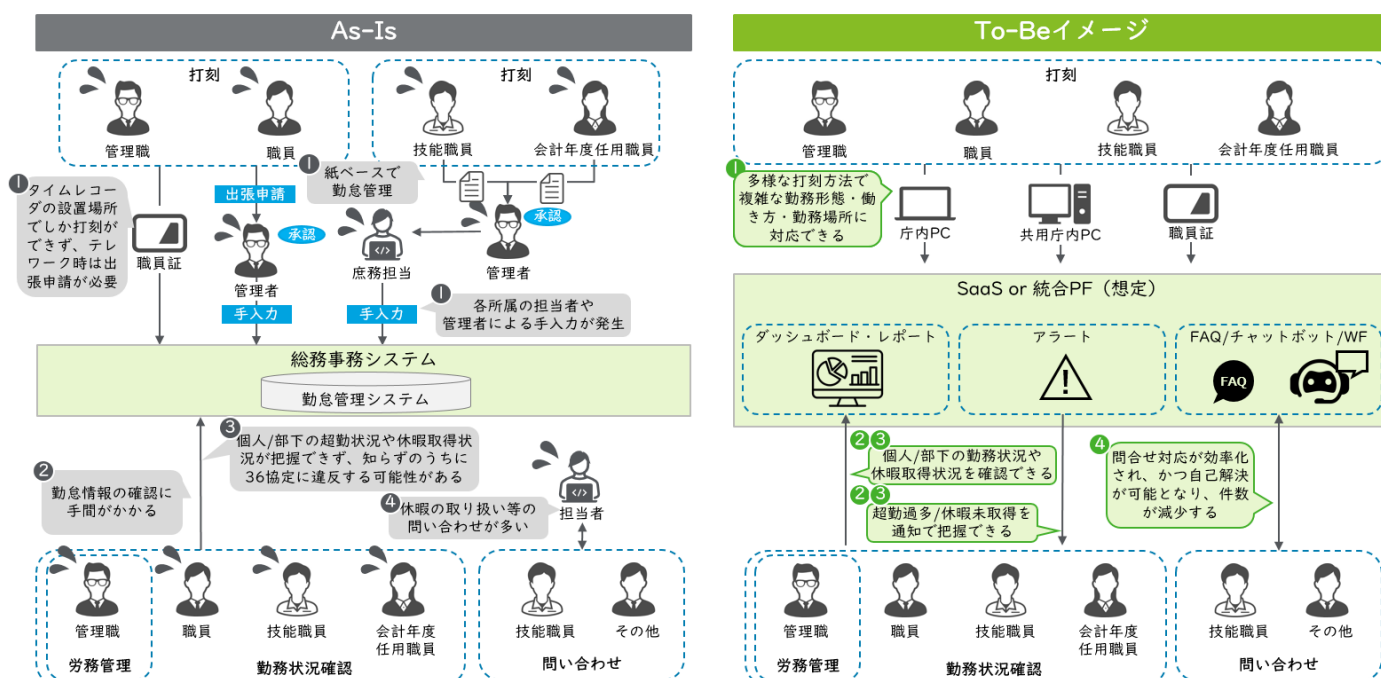
なお、勤怠管理システムに出張申請、旅費計算機能を有する場合、以下の課題もあわせて検討したいと考えています。

現行システムにおいては、勤怠管理機能側で出張申請、旅費計算を行っているため、会計システム側で旅費計算機能を保持することは検討していません。

- ・ 経路・旅費の経済合理性の確認に工数がかかっている
- ・ 総務事務システムから財務会計システムへの支払情報の連携時に、現状は Excel マクロを用いて CSV ファイルを txt ファイルへアナログ作業で変換しており、業務負担がかかっていることに加え、旅費精算機能の利用拡大の妨げになっている
- ・ ※詳細は【別紙 2】P.20～21 を参照

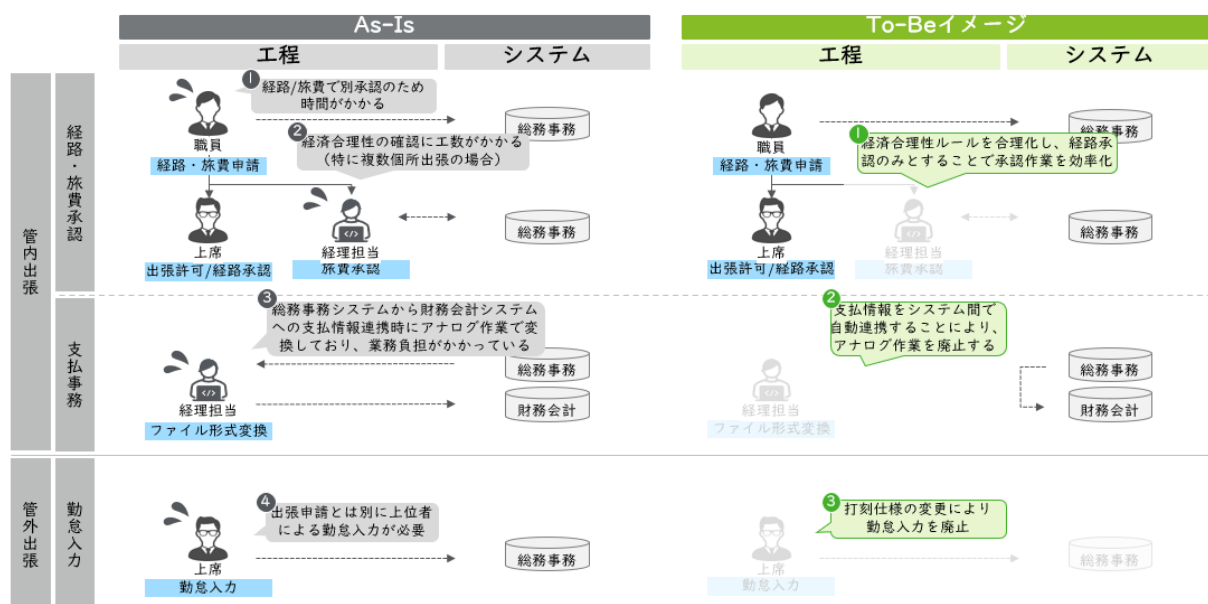
(イ) 対応の方向性

- ・ 多様な働き方への対応や労務管理については、市場にあるクラウドサービスを利用することで、IC カード読取機も含めて対応が可能と考えていますが、本市独自の制度（15 分刻みで 1 時間から休暇取得が可能、消防士の勤務形態に対応できるなど）に対応できるなど柔軟性が高いものが必要です。



(イ) 対応の方向性（前頁の続き）

- 勤怠管理システムにおける出張申請、旅費計算機能を活用して、経路・旅費の経済合理性の確認及び後続作業を効率化する。



(ウ) 求める機能要件・情報提供内容

- 様式 2 の「勤怠管理（機能要件）」「勤怠管理（将来的に実装を希望する要件）」シートを参照の上、回答ください。

(3) タレントマネジメントシステム

(ア) 課題・背景

本市では「人材育成基本方針」および「働き方改革実施方針」にて人材管理に関する目指す姿を定義しているが、目指す姿の実現を阻害する課題が次のとおり存在します。

- 組織管理（タレントマネジメント）が所属内・課担当内で細分化されており、市全体での統合的な人材管理ができていない。
- 組織管理するための方針はあるものの、具体的に支援する仕組みやシステムがないため、課長・係長の負担が大きく属人化している。
- 係長・課長が異動となっても新たな係長・課長に引継ぎされない。
- 多様な職員の「働きがい」に関する意識調査が不十分であり、一部のデータ活用ができていない。
- 働く意欲の向上、優秀な人材の確保、多様な職員能力の活用など、組織全体のパフォーマンス向上に繋がる人材マネジメント施策を効果的に実行できていない。

(イ) 対策状況

係長・課長の負担軽減、市全体で人材育成していることを職員がより感じられるような環境をつくることを目的としてタレントマネジメントシステムの導入を想定して、令和 6 年度に PoC を実施しました。PoC によりタレントマネジメントシステムへの理解や得られる効果について一定理解できたものの、市場に数多あるなかの 1 製品でしかないことから、他の製品についても調査・検証が必要と判断しております。

(ウ) 求める機能要件・情報提供内容

本市の人材マネジメント高度化・業務効率化を実現するため、タレントマネジメントシステムに求めるも

のは次のとおり。

【基本要件】

- ・ 人材データベース機能：職員の基本情報、スキル、経験、評価履歴等の一元管理
- ・ 組織・配置管理機能：部署間異動履歴、適性分析に基づく最適配置支援
- ・ 人材育成管理機能：キャリアパス設計、スキル管理、育成計画の策定・進捗管理
- ・ eラーニング・研修管理：学習コンテンツの作成・配信管理、研修受講履歴管理
- ・ 評価・分析機能：多角的な人事評価データの収集・分析、パフォーマンス可視化
- ・ ワークフロー機能：人事関連手続きの電子化・自動化による業務効率化
- ・ セキュリティ要件：個人情報保護、アクセス制御等への対応

【個別要件】

- ・ 大規模組織（職員数約 3 万人）に対応可能なシステム性能・拡張性
- ・ 大阪市働き方改革実施方針に則したものであり、本市課題を解決が期待できるもの
- ・ 既存人事給与システムとの連携機能
- ・ 管理職の意思決定を支援する機能（ダッシュボード・レポート、AI を活用したアドバイス 等）
- ・ 職員のエンゲージメント向上に資する機能（キャリア相談、自己申告、エンゲージメントサーベイ等）

※ 回答様式につきましては、「大阪市バックオフィスDXにおける人事給与関連事務システムに係る
情報提供依頼（RFI） 3 情報提供依頼内容について （2）本件RFIに係るスケジュール」に記載のとおり、8月上旬に提示する予定です。